

わくわく中部

中部教育局社会教育担当だより
令和7年4月1日発行



写真：サトザクラ（北栄町西高尾）

4月の主な行事予定

9日（水） 中部地区人権・同和教育担当者会 中部地区社会教育担当者会
10日（木） 中部地区社会体育担当者会
18日（金） 市町村人権教育・啓発行政担当者会

（中部総合事務所）
（中部総合事務所）
（倉吉体育文化会館）

ちゅうぶくんが行く！

中部のヒト・モノ・コトを訪ねて



古布庄地区公民館（琴浦町）



旧 古布庄小学校の近く、雪が残る古布庄地区公民館に行ってきました。

この日は十割そばの、そば打ち体験の日。使用するそばは古布庄産。十割そばは小麦粉のつなががないため、難しいとされていますが、地域の方の丁寧な指導のもと、皆さん上手にそば打ちをされていました。

そばが出来上がった後は、打ちたて、ゆでたての温かいそばを、おいしくいただきました。講師の方のそばは太さが均一で、見た目も味も最高でした。

温かいそばと、参加者の皆さんとの交流で、おいしくて楽しい訪問となりました。



地元産のそば粉で、地元の講師でのそば打ち体験。初めて参加する人でも安心して取り組めるようにと、講師の方、公民館の方の細やかな心配りを感じました。「地域の魅力」を味わえる、とても素敵な取組ですね！



講師の方の見事な
手さばきに釘付け！



私のそばは、うどんに負けないくらい極太麺！



打ちたて、ゆでたての
そばは最高！



美術館



美

美術館とは、芸術分野に特化した博物館の一種で、美術作品を収集、保存、展示するための施設です。また、教育活動や研究も行っており、芸術に関する知識の普及に貢献しています。

美術館で扱う作品は【絵画・彫刻・版画・写真・工芸品】などの視覚芸術が中心で、さまざまな思考やイメージを表現した美術作品を収蔵しています。

まとめ

美術館とは、

- ・芸術分野に特化した博物館の一種
- ・芸術に関する教育・普及・研究も行う施設

ちゅうぶくん

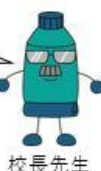
～どんどんチャレンジ！～



今日は
始業式



新しい学年で
新しいことに
どんどんチャレンジ
してください。



校長先生

よし！勉強も運動も
どんどんチャレンジするぞ！



わたしたちの
残しといえよ



まずは給食を
どんどん食べて
おかわりの限界に
チャレンジだ！

鳥取県立美術館オープニング記念イベントがありました！ 3月29日(土)

3月30日にオープンした鳥取県立美術館。開館前日、3月29日の開館記念シンポジウム「ほんとに美術館って必要なの？」に参加しました。鳥取県立美術館の開館記念展に出品された現代芸術家、森村泰昌さん、やなぎみわさんをパネラーに迎えたシンポジウムでした。

森村さんからは、ブリコの箱について「60年も前の作品が、こんなにも話題となっていることは、作品を作る側として、とても羨ましい。」と一線で活躍される世界的な芸術家ならではのコメントがありました。やなぎさんからは、鳥取県立美術館の立地について「建物の横に、こんなに大きな広場のある美術館は、はじめて見た。いろんな表現活動の可能性がある場所だと感じた。」と舞台芸術専門家の視点でのお話がありました。鳥取県立美術館の作品の価値も、建物自体の価値も、とても素晴らしいものだということを改めて知り、こんな立派な美術館が出来たことを、とてもうれしく思いました。

新しく美術館がオープンしたことで、にぎやかで楽しい令和7年度になりそうだなと感じました。

美術作品に触れ、視野を広げるだけでなく、鳥取県からも著名な芸術家が出ていること、鳥取県を描いた作品で鳥取県の美しさを知ることでもできます。子どもたちが鳥取県をもっと好きになれる場所ですね！



【あとがき】「冬の大山に登ってきました！」

3月中旬、大山登山をしてきました。昨年も同じ時期に同じメンバーで登山をしたのですが、今年の方が圧倒的に雪が多く、下の写真の様に6合目の避難小屋が、やっと見える位の雪の深さ！その後、9合目までは晴天だったのですが、だんだんと雲が増え、頂上は雲の中。でも登りきった達成感がありました！

下山は踏み跡の少ないルートで、安全に雪の深さを楽しむことができました。冬の大山登山はまだ2回目。快晴の冬山登山をまだ経験してないので、また来年、リベンジしようと思います！

中部教育局2年目。中部の社会教育を盛り上げるために頑張っていきます。今年度もよろしくお願いいたします。

